

Shimizu Port News

第74号—平成24年1月31日—

～愛され、選ばれる港へ～
静岡県清水港管理局

国内最大の豪華客船

平成24年1月10日(火)、国内最大の豪華客船「飛鳥Ⅱ」が日の出埠頭に寄港しました。
今年度3回目、通算13回目の寄港です。

「飛鳥Ⅱ」再び寄港!



花束贈呈は芸妓さんから。
会場は華やかな雰囲気
に包まれました。



午後には、抽選で選ばれた100名が約1時間にわたり、豪華な船内を見学しました。



出港時には、清水和太鼓連絡会の皆さんの勇壮な演奏で見送りました。



船内では清水芸妓衆が「次郎長音頭」や「ちゃつきり節」などを披露し、清水港への寄港を歓迎しました。



知っていますか？「江尻監視所」

「江尻監視所」は、JR清水駅の東側、清水魚市場を少し奥に入ったところにある建物の屋上にあります。ここでは、どんな仕事をしているか知っていますか？
江尻監視所に勤務する増田さんに、業務についてお話を伺いました。

Q1 江尻監視所ではどんな仕事をしていますか？



Q2 仕事をしていく上で、特に心がけていることはありますか？

増田さんから一言お願いします！

A1 監視所の業務は、江尻漁港区の

- ①船舶係留調整(清水港の係留場所の調整は、清水港管理局で行っていますが、江尻だけは江尻監視所で行っています！)
- ②港湾施設の管理点検
- ③船舶接岸・離岸時の指導援助などです。



A2 事故が起きないようにということが第一です。また、バースが足りなくならないよう、先を読んで調整をするよう心がけています。

関係者の方との信頼関係や協力が大切。皆さん、協力的でとても助かっています。信頼関係を大切に日々の業務を行っています。



ここが江尻監視所。江尻埠頭が見渡せます。埠頭の様子を見守っています。

ここから見える富士山、とてもきれいです☆



祝！清水港・みなと色彩計画20周年！！

平成24年1月24日(火)、「清水港・みなと色彩計画」の20周年を記念し、20周年記念セミナーが開催されました。セミナーでは、色彩計画アドバイザー会議の座長である、東海大学の東恵子教授が「地域と連携した美しい港まちづくり」と題し講演を行いました。セミナー終了後は交流会が開催され、関係者が20年の思い出話に花をさかせました。



セミナーには、100人以上の方がいらっしやいました。

参加した皆さんから多くのメッセージをいただきました。



♪みなさまからのご意見やお問い合わせはこちらまで♪
〒424-0922 静岡市清水区日の出町9-25 清水港管理局 企画振興課
TEL054-353-2203 FAX054-354-0380
e-mail : port@mail.wbs.ne.jp

